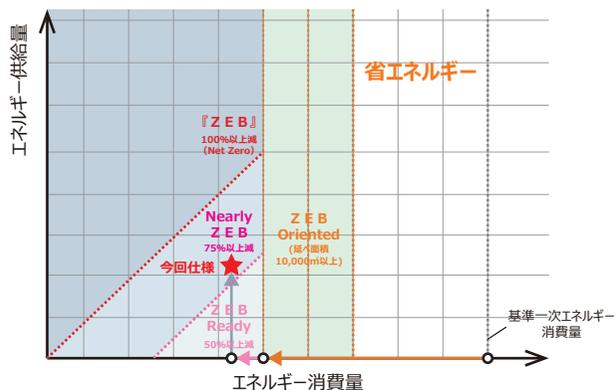


## 全体配置図



## Nearly ZEB取得目標

一次エネルギー消費量を75パーセント以上削減し、Nearly ZEB達成を目指します



## 構造計画

ハイブリッド木質大空間  
・ハイウッドビーム斜格子構造

フレキシブル  
コの字ラーメン構造  
・鉄骨造

耐震斜め柱  
・鋼管

耐火木鋼梁 (ハイウッドビーム)



・ロングスパンの鉄骨梁を、耐火被覆と補剛性を担保する木材で覆う独自の工法により、大スパンの木質大空間を実現します

## 計画概要

地名地番	福島県双葉郡大熊町大字下野上字大野116-5
敷地面積	8,126.48㎡ (近隣商業地域7,285.21㎡、指定のない区域841.27㎡)
主要用途	事務所 展示場 自動車車庫
建築面積	4,287.07㎡
延面積	10,298.70㎡
階数	地上3階
建物高さ	最高の高さ 17.62m
構造形式	鉄骨造
基礎形式	直接基礎
E L V	乗用 11人乗 2基
外部仕上	外壁：ALC t125の上、アクリル樹脂系仕上塗材 開口部：(1階) 木製サッシュ 耐候性クリア塗装 強化合わせガラス
貸事務所 内部仕上	天井：RB t 15 (システム天井 640x640グリッド) 壁：ビニルクロス貼等 床：タイルカーペット、OAフロア H100
工期	2023年10月 ~ 2024年12月

## 衛生設備概要

給水設備	上水系統 : 1F受水槽 + 加圧給水ポンプ方式 雑用水系統 : ビット受水槽 + 加圧給水ポンプ方式
給湯設備	便所手洗・湯沸：電気温水器
排水設備	排水系統 : 一般汚水・雑排水、雨水の2系統
消火設備	屋内消火栓、移動式粉末消火器

## 空調設備概要

空調設備	貸事務所等、会議室等：空冷ヒートポンプパッケージ空調 多目的スペース、コワーキングスペース、ラウンジ：躯体蓄熱放射空調 + 空冷ヒートポンプパッケージ空調
------	--

換気設備	貸事務所等 : 直膨コイル付全熱交換器による第一種換気 便所等 : 第三種換気
------	--

## 電気設備概要

受電方式	三相3線6.6KV 1回線 地中引込
変圧器容量	単相 - 150[KVA]×3 台 三相 - 500[KVA]×1 台、300[KVA]×1 台 スコットトランス - 50[KVA]×1 台、30[KVA]×1 台
照明器具	全面LED照明 貸事務所照度 700Lx
防災等	自動火災報知器・非常照明・誘導灯
自家発電	ディーゼル式非常用発電機を屋上階に設置
用途仕様	保安用 三相3線200V、80KVA、屋外型、標準騒音型 (105 dB以下)
太陽光発電パネル	300kW 単結晶

## 【資料】5 - 2



## 大熊町産業交流施設整備





# CREVA おおくま

商業エリアと一体となって人々を引き込み  
多様な人々の交流を促進する場をつくることで  
産業創出と賑わいづくりを先導します



## 2. 屋内外の3つの空間により、多様な交流を生みます

・多様な交流の場となる「広場」「バルコニー」「テラス」

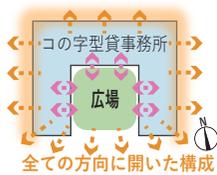


### ■ コの字型の貸事務所と中央の開かれた共用スペースの構成

・初めて大熊町に来た人もわかりやすく、使いやすいユニバーサルデザインの基本理念に沿った施設とします。一時避難スペースとして開放し、安全安心の拠り所となります。

・コの字配置のオフィス空間は、賑わいの中心である広場に面した計画とし、また外周部に「バルコニー」を設け外部に開かれた計画とします。開かれたオフィスは親しみやすく訪れてみたくなる魅力あふれる空間とし、町民と働く人が交流する町のリビングのような場となります。

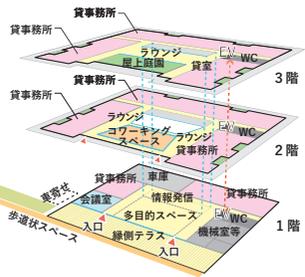
・広場1階は災害時一時避難スペースとして開放し、安全安心の拠り所となります。



### ■ 各室の機能や相互の連携に配慮したフロア構成

・1階の貸事務所は情報発信スペースや車庫に隣接した配置とします。2・3階の貸事務所は各階3分割とし、1室あたり最小約13㎡から最大約1000㎡まで様々なテナントニーズの分割対応が可能です。

・中央の吹抜に隣接してエレベーターと階段を設けることで、すべての部屋までフラットでラウンジを併設する広い廊下を通して最短距離でのアクセスが可能であり、バリアフリーに配慮します。



## 1. 周辺機能と連携し、地区全体の賑わいをつくります

・将来の施設整備を踏まえ、地区の動線、一体利用を想定した施設



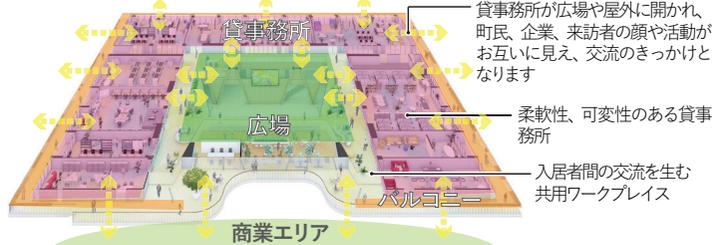
・地区の中心となる広場や大熊交流軸の賑わいを引き込み、一体的な駅前賑わいを生み出します。

・今後整備される施設との連携や、隣接地との賑わい・交流空間の連続、西地区全体の動線を考慮した施設計画とします。



## 3. 柔軟なワークスペースで、多様な働き方を実現します

・入居者が自由に働くとともに、町民との距離を縮めるワークスペース



### ■ 入居者間の交流を生む共用ワークスペース (2・3階)

・2階は開放的なワークスペースを併設するラウンジ空間を設けます。3階にも豊富な共用スペースやラウンジ・屋上庭園を設けています。それらを自由に利用することで、仕事の内容やその日の気分に合わせて適した場所を選んで働くことができ、入居者の幅広いニーズに応えることが可能です。



### ■ 貸事務所から外へ直接出られる「バルコニー」

・すべての貸事務所から直接バルコニーへ通じる出入口を設けます。専有テラスや貸事務所の外周部は入居者が好きなように使うことができ、バルコニーに対して入居者らしさが表出します。入居者や町民が気軽に立ち止まりやすい交流の場をつくります。



## 4. 人々が集まる場を温もりある木の空間とします

・人々が温もりを感じ、町の林業の歴史を受け継ぐ、シンボリックな木の空間

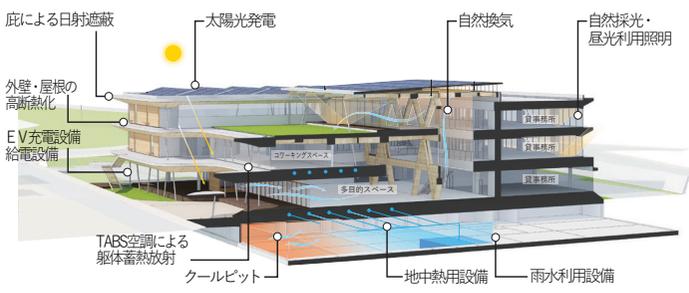


木を使った大熊町の新しいシンボル空間となり、町民や入居者のみなさまに長く愛される施設を目指します

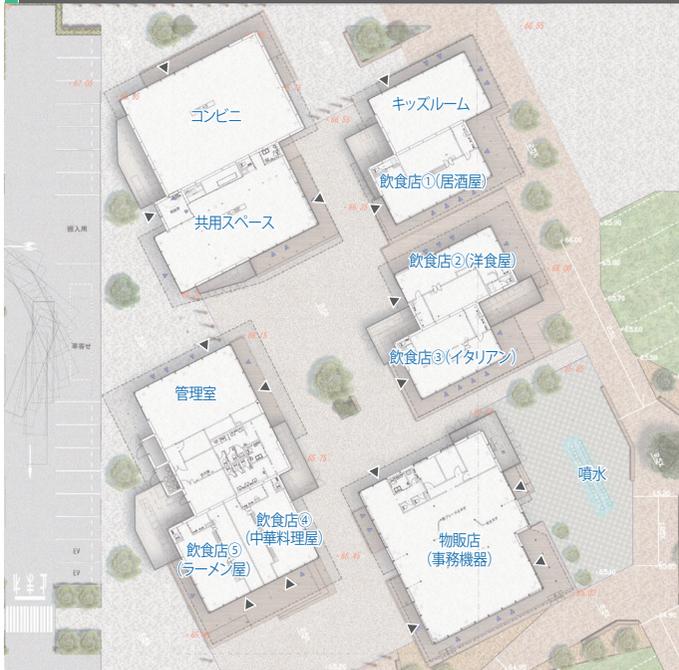
## 5. 地域特性を活かした最先端技術を導入します

・町民、入居者の快適性や先進企業の誘致につながる、高い環境性能と業務継続性

・大熊町ならではのNearly ZEBを実現



## 商業計画



中庭



飲食店

## 計画概要

地名地番 福島県双葉郡大熊町大字下野上字大野116-6  
 住居表示 〒979-1308 福島県双葉郡大熊町大字下野上字大野116-6  
 敷地面積 15,689.90㎡ (近隣商業地域9,928.89㎡, 指定のない区域5761.01㎡)

主要用途 飲食店 物品販売を営む店舗 事務所  
 建築面積 1,807.47㎡  
 延面積 1,493.43㎡  
 階数 地上1階  
 建物高さ 最高の高さ 平均GL+5.585m

構造形式 鉄骨造  
 基礎形式 直接基礎

外部仕上 屋根: カラーガルバリウム鋼板 t=0.4 シート防水  
 外壁: 窯業系平系スレート t=5.5 レッドシダー t=18

飲食店内部仕上 軒裏: 硬質木片セメント t=25板貼  
 天井: 硬質木片セメント t=25 EP塗装  
 壁: ビニルクロス貼 (一部EP塗装)  
 床: 複層ビニル床シート t=2.0

工期 2024年4月 ~ 2025年3月

## 衛生設備概要

給水設備 上水系統 : 受水槽 + 加圧給水方式  
 給湯設備 飲食店厨房 : セントラル方式 (エコキュート)  
 便所系統 : 局所式 (貯湯式電気温水器)  
 排水設備 排水系統 : 一般汚水・雑排水、雨水の2系統  
 消火設備 消火器

## 空調設備概要

空調設備 飲食店客席・事務室等 : 空冷ヒートポンプパッケージ空調  
 換気設備 飲食店厨房等 : 給排気ファンによる第1種換気  
 飲食店客席 : 全熱交換器による第1種換気  
 便所等 : 第3種換気

## 電気設備概要

受電方式 三相3線6.6KV 1回線 地中引込  
 変圧器容量 単相-100[KVA]×3台  
 三相-500[KVA]×1台、300[KVA]×1台  
 スコットトランス-50[KVA]×4台  
 照明器具 全面LED照明、飲食250Lx、店舗500Lx  
 防災等 自動火災報知器・非常照明

太陽光発電 195kW  
 パネル 単結晶



## 大熊町大野駅西商業施設整備事業





**クマSUNテラス**

新たに生まれる商業施設と広場は  
町内や地区内の施設との“つながり”を深め、多様な人々を呼び込みます  
人々が集まることで、賑わいと交流が生まれ、町の復興の大きな“推進力”となります

## 1. 周辺機能と連携し、地区全体の賑わいをつくります

• 将来の施設整備を踏まえ、地区の動線、一体利用を想定した施設構成



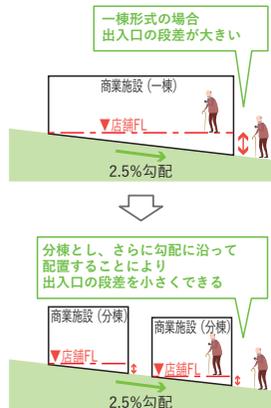
## 2. 高低差を棟ごとに解消し、誰もが使いやすい分棟の商業施設

• 分棟とし、勾配に沿って配置することで出入口の段差を小さくする

### ■ 計画地の高低差を解消する配置



### ■ バリアフリーにも有効な分棟の計画



• 北西から南東へかけて、全体で4mある地盤の高低差を棟ごとに解消します。商業施設の建物を1~2店舗ごとの分棟形式とすることにより、店舗出入口の高低差を最小限にすることが可能です。バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した、合理的で誰もが使いやすい計画とします。



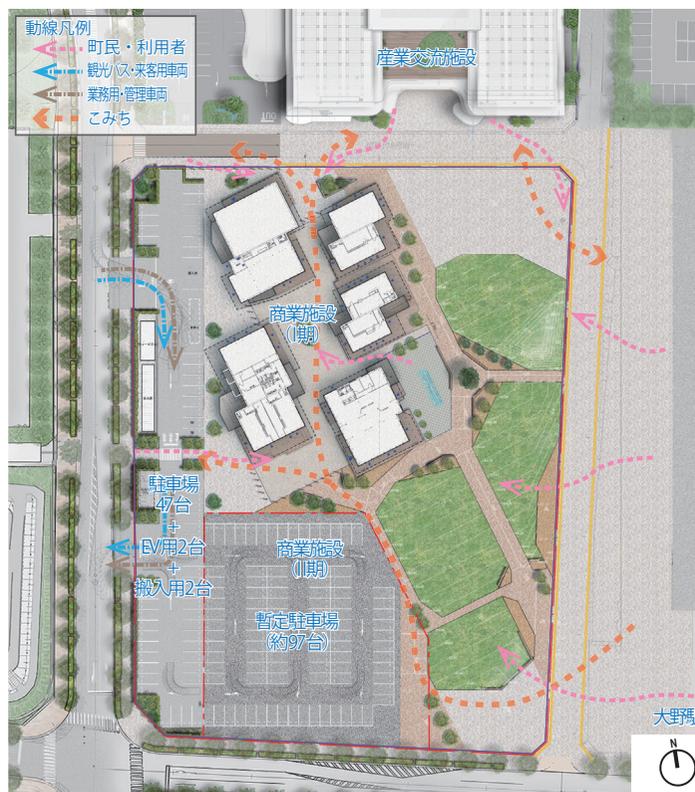
震災前の大野駅前  
出典：大熊町写真館

• 大野駅駅前のかつての商店街の記憶を継承し、中庭に沿って各店舗が顔を出す1~2店舗ごとの分棟形式とします。

• 分棟にすることにより、周囲への圧迫感を軽減し、親しみやすいヒューマンスケールの街並みを形成します。

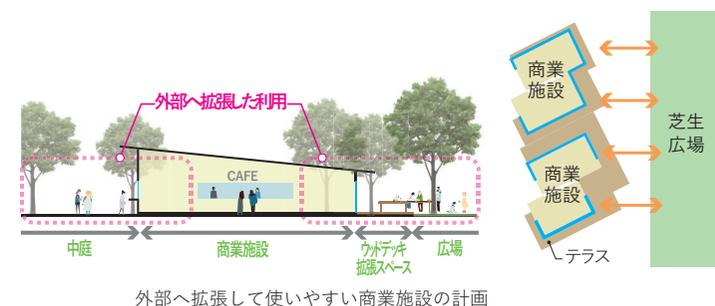
## 3. 多様な活動を誘発する場をつくります

• 日常のコミュニケーションだけでなく、イベントスペースとしても利用



## 4. 広場と一体で使いやすい商業施設

• 芝生ひろばや底下の外部空間と連続する利用しやすい共用テラス



## 5. 温かみのある外装計画

• 周囲と調和し、人々の居場所を際立たせ、快適で安心感を生む計画

